

# 仙障だより

発行所  
〒980-0022 仙台市青葉区五橋二丁目12番2号  
仙台市福祉プラザ8階  
社会福祉法人 仙台市障害者福祉協会  
TEL 022-266-0294(代)  
FAX 022-266-0292  
発行人 阿部一彦  
(題字 郡和子市長の書)  
定価 500円/年

## 第64回 日本身体障害者福祉大会

あきた大会開催

去る令和元年5月22日(水)～24日(金)に、秋田県で第64回日本身体障害者福祉大会あきた大会が開催されました。

5月22日(水)には、秋田キャッスルホテルにおいて、日身連の評議員会、政策協議(基調講演・シンポジウム)が行われました。

翌23日(木)には、秋田県立武道館において全国から大勢の参加のもと日本身体障害者福祉大会が開催され、大会式典や大会決議・大会宣言等が行われました。

また、同大会式典において、全国で53名の方が表彰され、仙台市においては、当協会の熊谷勇一監事が長年の障害者福祉の向上や権利擁護のために尽力した功績により日本身体障害者団体連合会会長より表彰されました。

### ◆大会スローガン◆

ユニバーサルデザイン2020  
行動計画の完全実施を求めよう  
日身連および加盟団体の組織強化を図ろう

### ◆大会宣言◆

全国から参加した多くの仲間とともに、ここ秋田県において、第64回日本身体障害者福祉大会を盛大に開催することができました。

日本身体障害者団体連合会は、時代に応じ、障害のある仲間の要望を受け、様々な活動を展開してきました。今、2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会を契機に、障害及び障害のある者に対する理解が高まっているなか、

障害のある者の立場から障害理解の一層の促進に向け、心を一つに活動していかねければならない。さらに、重要な指針である「ユニバーサルデザイン2020行動計画」をもとに、誰もが暮らしやすい共生社会の実現にむけ、関連施策の完全実施をめざし行動していく。

そして、障害理解に向けた一連の社会の流れが、2020年を経過点とすることなく、多くの人々、多くの団体、関係機関、企業を巻き込んで、オリンピック・パラリンピックのレガシーとして継承させることを求めていく。

こうしたことに、ひとりひとりが意識し、行動を起こすことを私たちの役割とし、互いにつながり、支え合う社会文化の定着へと動かししていこう。

日本身体障害者団体連合会に結集する私たち障害のある者は、障害者権利条約の精神、私たちのことを、私たち抜きに決めないで“をもつて、全国の会員ならびに加盟団体と強く連携し、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現をめざし、一致団結して行動することを誓い、ここに宣言する。

令和元年5月23日

### ◆大会決議◆

- 一、障害の社会モデルの理解啓発を強く推進しよう
  - 一、地域に根ざした心のバリアフリーを広げよう
  - 一、災害時における被災者支援の充実を図ろう
  - 一、障害者差別を禁止する条例を全国に制定させよう
  - 一、地域の相談支援体制に身体障害者相談員を活用しよう
- 以上、決議する。

令和元年5月23日



### 第64回 日本身体障害者福祉大会 あきた大会

#### ふれあいの旅を 実施しました

令和元年5月22日(水)～同24日(金)に、2泊3日で第64回日本身体障害者福祉大会 あきた大会ふれあいの旅を実施しました。

参加者は、20名(うち2名スタッフ)でした。(毎年、日本身体障害者福祉大会への参加を兼ねて、ふれあいの旅を実施しています。)旅行中は、リフト付き貸切バスで移動し、秋田の歴史を感じる箇所を多く見学することができました。22日(水)は、「花火伝統文化継承資料館」、「角館の散策」、23日(木)は、「第64回 日本身体障害者福祉大会 あきた大会」、「男鹿真山伝承館・なまはげ館」、「入道崎」、24日(金)は、「大潟村干拓博物館」、「日本最古の芝居小屋 康楽館」、「明治のレトロな洋館 小坂鉦山事務所」等を見学し、歴史を感じながら秋田の旅を堪能していただくことができました。

23日(木)の「第64回 日本身体障害者福祉大会 あきた大会」に

おいては、全国各地から多くの方々が参加されていきました。

次年度は、「広島市」での開催発表があり、参加者からは次年度に向けてのふれあいの旅「日本身体障害者福祉大会」への参加希望の声がかれました。



### 平成30年度 事業報告及び決算報告

令和元年5月30日(木)の理事会及び6月13日(木)の評議委員会の承認を経て、平成30年度事業報告及び決算が決議されました。

なお、平成30年度における事業報告は次のとおり、決算は6頁のとおりです。

- 1 ミッション  
障害者福祉の視点から誰もが暮らしやすいまちづくりを推進します
- 2 ビジョン  
多くの人々や組織とつながり、互いに支えあう最も信頼される組織を目指します
- 3 ミッションとビジョンを実現するための基本方針
  - ① 障害があっても生きがいや働きがいを持てる社会づくりに取り組みます
  - ② 当事者主体の障害者福祉の視点から地域福祉の推進に貢献します
  - ③ 本人主体の一人ひとりを大

切にしたサービスの提供に努めます

④ 専門性を互いに高めあうことができる職場づくりに取り組みます

#### 4 平成30年度の概況

平成30年度は、法人経営にあたっての目標として掲げているミッションおよびビジョン並びに基本方針の達成を目指して、次の10項目を重点事項と位置付けて実施した。

また、平成30年度は、当協会にとって平成元年3月31日の法人設立から30年の節目を迎えた年度であった。

(1) 法人設立30周年は記念事業の実施

- ① 法人設立30周年記念仙台市障害者福祉大会等の開催  
当協会の法人設立30周年を記念して「法人設立30周年記念仙台市障害者福祉大会」を開催した。

平成30年12月14日(金)

場所

ホテルメルパルク仙台

参加者 181名

内容  
記念式典、加入団体の活動計画等の発表と意見交換、記念祝賀会ほか

② 法人設立30周年記念誌の発行

行  
当協会の法人設立30周年にあたり、これまでの取り組みと今後の取り組みの方向性を盛り込んだ「法人設立30周年記念誌」を発行した。

発行部数 500部

内容  
会長あいさつ、設立30周年座談会、30年のあゆみ、表彰受賞の記録ほか

(2) 加入団体の活性化などに向けた取り組み

① 加入団体の活動支援  
加入団体の活性化を図る取り組みとして、平成30年度から加入団体に対する活動費、障害者スポーツ振興及び文化活動支援事業(加入団体実施事業支援)助成金を増額して活動を支援した。

② 会員相互の親睦交流および会員の増員等を図るため、「新春のつどい」「障害者ゲートボール大会」を実施した。

・新春のつどい  
平成31年2月24日(日)  
場所  
ホテルメルパルク仙台  
参加者 131名  
・障害者ゲートボール大会  
平成31年4月20日(土)  
場所  
シェルコムせんだい  
参加者 69名

(3) 居宅サービス事業所および訪問サービス事業所「五橋あい・はーと」の安定経営  
事業所の安定した経営を図るため、介護福祉士の配置、職員研修および職員会議並びに健康診断などを実施して「特定事業所加算」を受けるための体制を維持した。

また、安全で健康的な労働環境を確立して、より専門性の高い人材の確保と質の高いサービスを提供するため、「福祉・介護

職員処遇改善加算」「介護職員処遇改善加算」を受けるための体制を維持した。

また、障害福祉サービス管理ソフト(「響シリーズ」)および「シンフォニー(統合版)」を更新して、同行援護等の請求事務や実績管理などを効率的に行える体制を維持した。また、同システムの次回更新に備えて「障害福祉サービス管理ソフト買替積立金」を創設した。

(4) 就労継続支援(B型)事業所「せんしょう庵」の安定経営  
事業所の安定した経営を図るため、前年度同様、経験もしくは資格取得等に応じた職員の昇給基準を整備して「福祉・介護職員処遇改善加算」を受けるための体制を維持した。

また、職員の資質と支援スキルの向上を図るため、支援計画作成や感染症予防などの教育・研修を月1回実施した。

(5) 障害者福祉センター入浴サービス事業の実施に向けた体制整備

仙台市が在宅の重度障害者等を対象に翌々年度から実施する障害者福祉センター入浴サービス事業について、平成30年9月15日からモデル事業を実施して、当該事業の本格実施に向けた体制の整備に取り組んだ。

(6) 意思疎通支援者派遣事業コーディネート者の配置  
法人本部・事務局に登録手話通訳者および登録要約筆記通訳者等の派遣・養成等を行う職員1名を新たに配置して、聴覚障害者に対する支援体制を強化した。

(7) 障害者雇用マッチング強化事業支援員の増員  
障害者就労支援センター拠点における障害者雇用マッチング強化事業の支援員を1名から2名に増員して、市内の就労移行支援事業所と連携の下、企業内における障害者担当業務の切り出し提案や採用後の定着支援などの強化を図った。

(8) 障害当事者による障害理解の普及啓発

小中学校等における福祉学習などに障害当事者の講師を派遣して、障害理解の普及啓発に取り組んだ。

また、平成30年9月1日から障害理解サポーター養成研修事業(障害当事者講師養成研修事業)業務を実施して、障害当事者の講師の養成および研修を行った。

(9) 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた活動

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催に向けて、国のユニバーサルデザイン2020行動計画に基づく心のバリアフリーやユニバーサルデザインの街づくりなどについて普及・啓発を図った。

(10) 法人の中期計画の着実な遂行

法人の中期計画(2017年度から2021年度まで)に基づいて、計画的な法人運営と人

材育成に努めた。

※詳細は当協会ホームページをご覧ください。

### 第13回

### 障害者交流ゲートボール大会を開催しました

平成31年4月20日(土)にシエルコムせんだいにおいて、12チーム69名が参加して、第13回障害者交流ゲートボール大会を開催しました。

山形からも2チームが参加され、各チーム一丸となって競技に取り組みとともに熱戦が繰り広げられました。また、参加した選手同士が互いの健闘を称えあい、相互の親睦と交流を深めました。

各チームが4試合ずつ対戦した結果、1位には4戦全勝の実沢チームが、2位には3勝1敗のフレンドリーチーム、3位には同じく3勝1敗ながら得失点差で上山KSG-Bチームとなりました。選手からは「出かけるきっかけとなった。ありがとう」「継続して

続けて欲しい」「試合ができるのは楽しい」などの声をいただきました。

これからもみなさまの交流をはかれるような大会を継続して開催していきます。



### ＊表彰報告＊

#### 熊谷 勇一 監事

第64回日本身体障害者福祉大会あきた大会の式典において、当協会の熊谷勇一監事が日本身体障害者団体連絡会会長から表彰状の贈呈を受けました。輝かしいご功績を讃え、心からお祝い申し上げます。



### ＊報告＊

阿部一彦会長が、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会の会長に再任いたしました。

令和元年5月22日(水)に開催されました社会福祉法人日本身体障害者団体連絡会理事会において、阿部一彦会長が、日本身体障害者団体連合会会長に選出され、就任となりました。

2019年度

仙台市障害者

親善国際交流事業

令和元年5月15日(水)～同19日(日)に4泊5日の行程で蔡有仁主任委員を団長とする台南市体育總會心身障害運動委員会の交流訪問団14名が来仙されました。

滞在期間中は仙台市長表敬および仙台市議会議長表敬を行った他、仙台市内就労支援事業所等の視察や仙台市障害者就労支援センターにて福祉懇談会を行いました。福祉懇談会では国の障害者雇用施策や仙台市が独自に推進する就労支援施策や台南市の現状について、活発な情報交換がなされました。

また、仙台市交通局荒井車両基地の視察を行い、段差や隙間のないバリアフリーに配慮された仙台市の地下鉄を前に、感銘を受けていらっしゃいました。

当協会と台南市体育總會心身障害運動委員会の皆様との交流は平成18年から始まり、今年で13年目となります。今後も障害者福祉に

関する情報交換や視察をとおして、両国の障害者福祉の発展に寄与し、仙台市の姉妹都市である台南市との友好的な関係を今後も継続できるように努めてまいります。



障害のある方による書道・写真・絵画コンテストの作品を募集します

● 募集内容

【書道の部】

毛筆は半紙サイズ  
硬筆はA4サイズ

【写真の部】

四つ切サイズ(ワイドを含む)  
デジタルカメラ撮影作品は  
A4サイズも可

【絵画の部】

日本画・洋画・版画  
F10号以内

● 対象

市内にお住まいで障害のある方  
● 各部門1人1点まで

● テーマは自由

作品は天地が分かるように、裏面に記入してください。

● 応募方法

市役所本庁舎1階市民のへや、社会福祉法人仙台市障害者福祉協会などで配布する応募用紙を作品に添えて8月9日(必着)までご提出ください。

● お問い合わせ

仙台市障害者福祉協会

電話 266-0294  
FAX 266-0292

今後の主な事業について (7月～10月)

- 【7月】 26日(金) —— 仙台市障害者レクリエーション教室(書道教室)(福祉プラザ)
- 【8月】 5日(月) —— 仙台市障害者レクリエーション教室(スケッチ教室)(福祉プラザ)
- 8日(木) —— 加入団体連絡会議(福祉プラザ)
- 【9月】 7日(土)～8日(日) —— 政令指定都市身体障害者福祉団体連絡協議会  
政令指定都市身体障害者親善スポーツ大会(ボウリング大会) } (札幌市)
- 29日(日) —— 福祉まつり「ウエルフェア2019」(市民広場・一番町四丁目買物公園)
- 【10月】 10日(木)～15日(火) —— 全国障害者スポーツ大会(茨城県)
- 15日(火) —— 第2回定時理事会(福祉プラザ)
- 17日(木) —— 加入団体連絡会議(福祉プラザ)

## 資 金 収 支 計 算 書

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日

(単位：円)

勘 定 科 目		予 算 (A)	決 算 (B)	差 異(A)-(B)	備 考
事業活動による収支	収 入				
	介護保険事業収入	687,000	675,102	11,898	
	障害者就労支援事業収入	7,068,000	6,766,112	301,888	
	障害福祉サービス等事業収入	515,208,000	472,939,202	42,268,798	
	自立生活推進事業収入	135,894,000	117,844,828	18,049,172	
	収益事業収入	18,105,000	20,284,487	△2,179,487	
	経常経費寄附金収入	7,185,000	6,100,000	1,085,000	
	受取利息配当金収入	23,000	7,480	15,520	
	その他の収入	6,093,000	6,091,033	1,967	
	事業活動収入計(1)	690,263,000	630,708,244	59,554,756	
	支 出				
	人件費支出	487,906,000	432,741,846	55,164,154	
	事業費支出	91,363,000	80,383,292	10,979,708	
	事務費支出	97,977,000	80,452,108	17,524,892	
就労支援事業支出	7,068,000	6,766,112	301,888		
その他の支出	1,641,000	1,670,100	△29,100		
法人税住民税事業税支出	120,000	920,900	△800,900		
事業活動支出計(2)	686,075,000	602,934,358	83,140,642		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		4,188,000	27,773,886	△23,585,886	
施設整備等収入計(4)		0	0	0	
施設整備等支出計(5)		0	0	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		0	0	0	
その他の活動による収支	収 入				
	長期運営資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0	
	長期運営資金借入金収入	0	0	0	
	長期貸付金回収収入	0	0	0	
	投資有価証券売却収入	0	0	0	
	積立資産取崩収入	0	0	0	
	その他の活動による収入	0	0	0	
	その他の活動収入計(7)	32,913,000	47,436,952	△14,523,952	
	支 出				
	長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0	
	長期貸付金支出	0	0	0	
	投資有価証券取得支出	0	0	0	
	積立資産支出	200,000	200,000	0	
	その他の活動による支出	0	13,000	△13,000	
その他の活動支出計(8)	33,113,000	47,649,952	△14,536,952		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△200,000	△213,000	13,000	
予備費支出(10)		1,000,000	-	1,000,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		2,988,000	27,560,886	△24,572,886	
前期末支払資金残高(12)		186,038,000	186,044,605	△6,605	
当期末支払資金残高(11)+(12)		189,026,000	213,605,491	△24,579,491	